

日本部第21回定期大会開催

10月27日、建交労秋田県本部第21回定期大会を秋田市サンライフ秋田で開催しました。大会には、代議員・役員ら30人が出席しました。



なかま

NO.520 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙

2019年11月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29

Tel 018-823-7748 fax 018-823-7751

Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

秋田県本部の2019年度の役員

執行委員長 石塚 優(秋田運送支部)

副執行委員長 高橋正彦(ダンプ支部)

書記長 田中喜三男(ダンプ支部)

書記次長 佐藤博之(農林支部)

執行委員 小松一利(本荘清掃分会)

執行委員 鈴木 諭(秋田運送支部)

執行委員 工藤有己(個人加盟)

会計監査 佐藤一義(ダンプ支部)

会計監査 登藤義広(秋田運送支部)

*執行部・会計監査全員が再任。敬称略。

■宮城・福島で震災復興工事の使用促進現場で就労してきた。今年の5月からは、能代市ニツ井の小繁トンネルの使用促進工事現場で働いている。他の現場でも適正な単価(常用5万円税抜き)が実現できればいいと思う。

秋田ダンプ支部・高橋

■会社の創業70周年記念のつどい、故石田会長のお別れ会が相次いでとりおこなわれた。成瀬ダムの工事現場にセメントを納めている。現場では外国人労働者(スリランカ人)がたくさん働いているのを見る。

秋田運送支部・鈴木

■じん肺根絶のために裁判を行わないで患者を救済するための基金制度を求める国会議員の賛同署名が581名(全議員の7割)に達した。秋田県はこの間の参議院選挙で当選した寺田さんが新たに署名し、全員がしたことになる。年度内に裁判によらない救済法の成立をめざしていく。

農林支部・佐藤

■活動報告にあるように、金額では納得いかなかつたが賃上げをかちとった。臨時社員についても有休の比例付与を適用させた。年収300万円以上を確保するため、自治体に要請するとともに、会社へは委託単価のダンピングをさせないとりくみを強める。

本荘清掃分会・小松

■税金についていえば、われわれは取られるという感覚があるが、社会保障が行き届いている北欧諸国は納めるという意識の違いがある。イージス・アショアはアメリカのハワイとグアムを守るもの、配備は絶対に反対である。秋田県沿岸は風車だらけになった。私は近くに行くと頭痛がし、健康被害を実感している。企業や市の説明会に行って自分の意見を発言している。個人加盟・笠

石塚委員長のあいさつの後、県労連の越後屋事務局長と日本共産党秋田県委員会の富岡書記長から来賓のあいさつをいただきました。また中央本部、秋田中央法律事務所、各県本部・支部から寄せられたメッセージが紹介されました。

大会では、5人が発言しました。(左下)執行部の提案した総括と決算報告、運動方針案と予算案は満場一致で採択され、左記の役員を選出しました。大会は、組織建設の前進にむけて奮闘しようという大会宣言を採択して閉会しました。

県本部定期大会での石塚委員長のあいさつ(要旨)

先日起きたばかりの台風19号による悲惨な光景が目に焼き付いていて、他の事が浮かびません。80名以上の方が亡くなり、今なお行方が分からぬ方が多数いるようです。建交労の仲間が被害を受けたと言う情報は今のところありませんが、わかり次第秋田県本部として対応をしていきたいと思っています。改めて今回被害を受けられた皆様に対し、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げたいと思います。さて今年は、建交労の結成から20年と言う節目の年であります。秋田県本部は、1999年10月31日に結成大会を行いました。4年間の準備期間を経て三単産が組織合同をしました。あれから20年、残念ながら秋田県本部の組織構成数は大きく後退しました。しかし、全国で見た場合、確かに数的には後退しているのは事実ですが内容的には後退しているとは思っていません。なぜならば、日本の高度経済成長期を支えてきた団塊の世代の労働者が一気に定年退職したときに、建交労は耐えてきたどころか組織を伸ばした時期もありました。このことは決して簡単にできるものではないと思います。建交労中央も、そして秋田県本部も、何かをきっかけに大爆発できる要素を十分に備えた組織だと私は思っています。

県本部主要三支部のたたかいは、それぞれ柱の要求は明確になっていると思います。農林支部は控訴中の闘争を早期に解決し、トンネルじん肺根絶にむけたたかいと「基金制度」の創設を目指すたたかいであります。しかし、本来の目的である救済の立場から職業病で苦しんでいる労働者や元労働者への働きかけや手助けなど、課題もあります。

トラック部会は長年たたかってきた運動によく一筋の光が差し込めてきている状況だと思います。1990年の業界の規制緩和が開始以来、どの産業よりも規制緩和が早く進みその結果、過当競争が激化し運賃が暴落、安心・安全が担保できない状況に至りました。各企業の経営は悪化の一途をたどり、そのしわ寄せはすべてが労働者の賃金・労働条件にはねかえり、若者が敬遠する職業となり、現在において人手不足で立ち行かなくなっていることだと思います。このような状況は国も政府も私たちの運動で理解しているものの、荷主団体などの激しい抵抗などによって今まで来てしまったと思っています。一筋の光というのは、議案書にも記載されていますが、ようやく法律の改正によって改善が進められるはこびになったということです。まだ、完全に施行になったわけではありませんので、今後は押し攻める運動が必要だと思っています。

ダンプ部会については何と言っても使用促進闘争が中心の運動になると思います。常用単価の引き上げに大きな影響を与える最も効果的な取り組みだと考えています。現在の常用単価では、めいぱい稼働したとしても経費を除くと最低賃金に満たない事実を県や国、そして国民にも広く伝え、そして改善を求めていくことが重要です。使用促進闘争は専従職員一人でたたかえるような簡単なことではありません。いろんな戦術を練りながら、ときには団体で行動する必要があります。ラグビーの名セリフではありませんが「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉があります。労働組合運動も共通すると私は思います。

建交労秋田県本部の発展のためにはみんなの意見が必要です。本日の大会は活発な討議になることを期待し、非常に簡単ですが挨拶とします。

八面六臂(はちめんろっぴ)

沖縄の首里城全焼のニュースにシヨックをうけた。沖縄を象徴する建物だけに沖縄県民はどれだけ落ち込んでいることだろうか。平和を願う琉球王朝まつりも中止になってしまった。▼なぜスプリンクラーを設置しないかったのか?なぜ防火調査の対象ではなかつたのか?原因を今後に生かして欲しい。琉球・沖縄が歩んできた歴史文化の象徴の首里城の一日も早い復元を願う。▼安倍内閣、また「政治とカネ」問題で一周間で二人も大臣が辞任した。真相究明に夕をする隠蔽政策策動か?安倍政権の政治モラルの崩壊と言つてしまふべきである。▼安倍内閣の閣僚が辞任。安倍政権総辞職に値する重大問題だ。▼日本中を感動の渦に湧いたラグビーワールドカップ。大きな目標を持ち続け、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合言葉に、ワンチームとして挑んだ日本チーム。にわかファンも生まれ盛り上がりがすごい。チケットが取れなかつたのが残念。なぜこんなにファンが増えた?嬉しいことではあるが。選手の待遇面も改善してもらいたい。ワールドカップで優勝しても優勝賞金は無い。プライドだけでは続かない。▼ワンチームという团结をあらためて心に刻み、建交労の活動に生きていきたいものだ。(有)

「原発マネー」 関電幹部に還流

「菓子折りの庭に金貯」——時代劇でしか見たことのないようなシーンが現実に。「原発マネー」が関電幹部に還流していた。毎月電気料金を納めていた利用者は黙つていられない。電気という公共性の高い事業が利権まみれだった。疑惑は深まり広がるばかり。臨時国会で徹底解明しなければならない。

発端は税務調査

金沢国税局の税務調査で、18

年、福井県高浜町の建設会社、

吉田開発が同社顧問で同町元助役、森山栄治氏(19年3月死去)に「手数料」約3億円を提供し、森山氏が関電に金品を渡していたことが判明した。

10月2日に発表された関電の調査報告書によると、金品を受領したのは岩根茂樹社長、ハ

木誠会長ら20人。2011年2月から18年2月の7年間で計3億2千万円相当に上る。岩

根社長は会見で「関係悪化を恐れていつたん預かった」などと説明。高浜原発の再稼働に向け、地元有力者、森山氏との癒着を深めていたことが報告書から読み取れる。

森山栄治氏は高浜町助役を1977~87年に務め、退任後も原発開運の警備会社取締役などを務め、関電発注工事の受注業者から「手数料」として資金を集めていた。吉田開発は原発再稼働に必要な安全対策工事な

ど5年間で施工金額を約6倍超に増やし、18年8月期は21億3千万円を超えている。

高浜原発3、4号機の誘致でも町助役だった森山氏が大きくかかわったとされ「地元企業を使え」と吉田開発を推し、関電が下請に使うようゼネコンに「指示」したとされる。

受注業者からも

わざわざ、関電の幹部3人が吉田開発を含む2社から金品を直接受け取っていたことを関電が明らかにした。吉田開発は14

~18年の5年間で関電から約7・3億円を受注していた。ゼネ

コンからの下請けの形で約5

ア億円の工事を直接受注。ゼネ

コンから約5億5253万円で明瞭化した。このうち少なくとも3億

7140万円に同交付金が充てられている。交付金の原資は国民が電気料金に上乗せして払う

電源開発促進税だ。

自民党の稻田朋美幹事長代行(衆院福井1区)が代表の党支部が、森山氏が取締役を務めていた警備会社から計36万円の献金を受け取っていた。関電とその関連会社3社も稻田氏の資金管理団体からパートナー券を購入していた。高木毅元復興相や世耕弘成前経産相にも疑惑の目が向けられている。

他の電力会社でも同様の問題はないのか、政治家がどれほど

関わっているのか、疑惑は広がるばかりだ。

交付金も還流

高浜町の資料では、吉田開発は15~17年に国の電源立地対策交付金を活用した公共事業5件を総額4億5253万円で受注。

このうち少なくとも3億7140万円に同交付金が充てられている。交付金の原資は国民が電気料金に上乗せして払う

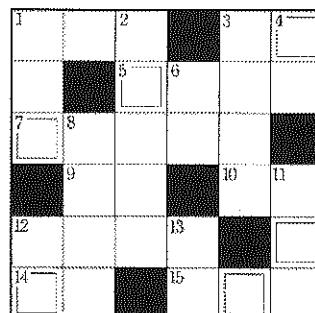
電源開発促進税だ。

力ギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

【タテの力ギ】

- ①最新の対 ②師範に代わって教える人 ③名高い、有名 ④魚籠。何と読む ⑥気取り屋。——な奴 ⑧ジェット機の——がうるさい ⑪夏のはじめ ⑫——の中のライオン ⑬腐っても——

クロスワードパズル



【ヨコの力ギ】①目立った才能がある人。——、才に倒る ③小柄。お——さん ⑤悲劇的な結末 ⑦コバンイタダキともいう ⑨酔って——をまく ⑩強い——を持ち成し遂げる ⑪旧名は豊後⑫ベル ⑬水族館の芸達者動物

【前回の答え】ショクヨク(食欲)

応募者3名、正解者3名でした。

福岡県田川支部の原田節生さんに1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です!

応募のしめ切り⇒11月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント→〇〇〇ビ〇〇…あたたかい天気

余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を!

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号

Fax. 018-823-7751

建交労秋田県本部「なかま」クイズ係

仲間の声

妻の1歳になり、ますますもの忘がひびくなり、そのお守りに私は疲労困ぱいしています。退職したら思う存分に読書など自由時間が持てると期待していましたが、現実はそんなに甘くなく、静かな時間など夢のまた夢。

生涯をともにたたかってきた戦友、今さら冷たくも出来ず、介護の難しさ、身につまされています。でも負けずに最後まで寄り添つてゆかねばと決意しています。

福岡県田川支部 原田節生 65歳

国籍、人種が違う。価値観も意見も違うのだそうけど、目標達成のために一丸となつて切磋琢磨する…。ラグビー日本チームのことです。ベストエイトおめでとう。

残念なことにR.O.さんが他界され、仲間の声の投稿者が少なくなった。本当にさみしい。仲間のみなさん、R.O.さん

がない。草葉の陰で喜んでくれるよにどしどし投稿しようじゃないですか。私の図書カードゲットの確率は低くなるけど…。遠慮は無用です。

個人加盟 笠 耕市 72歳

今真っ盛りのラグビーワールドカップは、開催国・日本の大活躍で大盛り上がりです。台風の影響等で、コンティッシュンを崩すことなく、このまま日本代表のベストエイト以上の活躍を期待しています。

ダンプ支部千秋分会 佐藤正樹 57歳

